

平成 26 年（1 月～12 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 25 年 12 月末	平成 26 年 12 月末	増減（率）
死亡災害（人）	955	969	14（1.5%）
死傷災害（人）	105,747	106,674	927（0.9%）
重大災害（件）	180	254	74（41.1%）

イ 先月末との比較

	平成 26 年 11 月末	平成 26 年 12 月末	対前年増減率の推移
死亡災害（人）	866	969	0.5% → 1.5%
死傷災害（人）	96,900	106,674	0.6% → 0.9%
重大災害（件）	230	254	38.6% → 41.1%

ウ 近年の同月との比較（12 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
死亡災害（人）	89	93	103
死傷災害（人）	9,366	9,430	9,774
重大災害（件）	30	14	24

（注：平成 27 年 1 月 7 日までに入力した速報値である。）

（出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告）

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（359 人）、第三次産業（217 人）、製造業（171 人）、陸上貨物運送事業（120 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」(247人)、「交通事故(道路)」(217人)、「はさまれ・巻き込まれ」(149人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死亡災害の前年同期の増加率は先月に比べて0.5%から1.5%に拡大している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、製造業では▲15.3%から▲10.9%に減少幅が縮小している。また、建設業では8.1%から10.8%に増加幅が拡大しており、陸上貨物運送事業では35.4%から29.0%と増加幅が縮小している。

(3) 死傷災害(休業4日以上)

ア 業種別発生状況

第三次産業(45,651人)、製造業(24,910人)、建設業(15,792人)、陸上貨物運送事業(12,834人)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」(23,729人)、「墜落・転落」(18,578人)、「はさまれ・巻き込まれ」(13,932人)の順で多く発生している。

ウ その他

全産業の死傷災害の前年同期の増加率は先月に比べて0.6%から0.9%に拡大している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、第三次産業では0.6%から1.2%に、製造業では1.4%から1.6%に増加率がそれぞれ拡大し、建設業では0.5%から0.2%に増加率が縮小している。陸上貨物運送事業では▲0.5%から▲0.3%と減少率が縮小している。

(4) 重大災害(一時に3人以上の死傷者を伴う災害)

ア 業種別発生状況

建設業(115件)、第三次産業を中心としたその他の事業(73件)、製造業(48件)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」(128件)、「中毒・薬傷」(44件)、「その他」(37件)の順で多く発生している。

ウ その他

重大災害の発生件数は、全産業において254件で、前年同期に比べて74件、41.1%増加し、先月の38.6%増加に対して増加幅が拡大している。建設業において115件で、前年同期に比べて36件、45.6%増加し、先月の47.2%増加に対して増加幅が縮小している。製造業において48件で、前年同期に比べて22件、84.6%増加し、先月の95.5%の増加に対して増加幅が縮小している。